

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2022 年 10 月 28 日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

**革新的環境技術シンポジウム 2022**  
**～2050 年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～**  
**開催のご案内**

当機構は、2022 年 12 月 7 日（水）、イイノホールにおいて、当機構の最新の研究開発成果についてご報告するシンポジウムを開催いたします。

当機構は設立以来、地球温暖化対策における中心課題である CO<sub>2</sub> 削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。

本シンポジウムでは、経済産業省大臣官房審議官の木原晋一様をお迎えしてご講演いただく他、当機構の下田研究所長による基調講演、各グループ・センターの最新の研究成果についてご報告いたします。

地球温暖化問題やその対策技術にご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお、本シンポジウムは会場参加と Web 参加をあわせたハイブリッド方式にて開催いたします。

## 1. 開催趣旨

我が国では 2020 年 10 月の菅首相「2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」宣言に続き、2021 年 4 月に地球温暖化に対する新たな目標「2030 年の温室効果ガスの排出 2013 年度比 46%削減」が掲げられました。昨年秋の COP26 で採択されたグラスゴー気候合意では、パリ協定の目標実施における隔たりに対処するため、この決定的な 10 年間における緩和や適応等に関する野心と行動を強化することの緊急性が強調されました。そして今年の 11 月にはエジプトのシャルム・エル・シェイクで COP27 開催が予定されています。日本は、展示やサイドイベントを実施する「ジャパン・パビリオン」を設ける予定です。これらの背景から、革新的エネルギー・環境技術への期待は今まで以上の高まることが予想されます。

当機構は設立以来、このような抜本的な CO<sub>2</sub> 削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。この戦略の着実な推進に向け、温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠です。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。

## 2. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

後 援： 経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、  
（予定） 公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、  
一般社団法人 日本エネルギー学会、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

日 時： 2022 年 12 月 7 日（水） 13:00～17:25 （会場受付開始 12:30）

会 場： イイノホール（東京都千代田区内幸町 2-1-1）および、Web 配信

参加費： 無料

参加申込締切： 2022 年 11 月 30 日（水）

プログラム（敬称略）：

- ・ 招待講演： COP27 の成果と今後の動向  
経済産業省 大臣官房審議官（環境問題担当） 木原 晋一
- ・ 基調講演： 需要側から考えるカーボンニュートラル  
RITE 理事・研究所長 下田 吉之
- ・ 講演 1： デジタル化進展による低エネルギー需要社会の定量的シナリオ構築  
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ・ 講演 2： カーボンニュートラル達成に向けた新たな CO<sub>2</sub> 分離回収技術開発への取り組み  
化学研究グループリーダー 余語 克則
- ・ 講演 3： カーボンニュートラルに向けての CO<sub>2</sub> 地中貯留の役割  
－研究開発から実用化・事業化への推進－  
CO<sub>2</sub> 貯留研究グループリーダー 薛 自求
- ・ 講演 4： カーボンニュートラルに貢献するグリーンバイオプロセスの開発  
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- ・ 講演 5： CCU の社会実装に貢献する無機膜の開発と課題  
無機膜研究センター長 中尾 真一

（詳細はリーフレットを参照願います。）

### 3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <https://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

※一定数になりましたら、参加申込締切日前に締め切らせていただきますので、早めのお申し込みをご検討いただきますようお願い致します。

### 4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加申込みをお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

### 5. その他

- ・ 開催に際しては新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮いたします。

本件に関するお問合せ先：

（公財）地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 樋口、久保、辰巳

TEL：0774-75-2301

Innovative Environmental Technology Symposium 2022

# 革新的環境技術シンポジウム2022

## ～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～

2022年12月7日  13:00～17:25(受付開始 12:30)

イノホールおよび Web 配信(ハイブリッド開催)

**入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、  
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会、  
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

### SCOPE

我が国では2020年10月の菅首相「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」宣言に続き、2021年4月に地球温暖化に対する新たな目標「2030年の温室効果ガスの排出2013年度比46%削減」が掲げられました。昨年秋のCOP26で採択されたグラスゴー気候合意では、パリ協定の目標実施における隔たりに対処するため、この決定的な10年間における緩和や適応等に関する野心と行動を強化することの緊急性が強調されました。そして今年の11月にはエジプトのシャルム・エル・シェイクでCOP27開催が予定されています。日本は、展示やサイドイベントを実施する「ジャパン・パビリオン」を設ける予定です。これらの背景から、革新的エネルギー・環境技術への期待は今まで以上の高まることが予想されます。

当機構は設立以来、このような抜本的なCO<sub>2</sub>削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。この戦略の着実な推進に向け、温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠です。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。



## プログラム

|               |      |                                                                                                           |
|---------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12:30         | 受付開始 |                                                                                                           |
| 13:00 ~ 13:05 | 開会挨拶 | 理事長 山地 憲治                                                                                                 |
| 13:05 ~ 13:35 | 招待講演 | <b>COP27 の成果と今後の動向</b><br>経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 木原 晋一                                                     |
| 13:35 ~ 14:05 | 基調講演 | <b>需要側から考えるカーボンニュートラル</b><br>理事・研究所長 下田 吉之                                                                |
| 14:05 ~ 14:40 | 講演 1 | <b>デジタル化進展による低エネルギー需要社会の定量的シナリオ構築</b><br>システム研究グループリーダー 秋元 圭吾                                             |
| 14:40 ~ 15:10 | 休憩   |                                                                                                           |
| 15:10 ~ 15:45 | 講演 2 | <b>カーボンニュートラル達成に向けた新たな CO<sub>2</sub>分離回収技術開発への取り組み</b><br>化学研究グループリーダー 余語 克則                             |
| 15:45 ~ 16:20 | 講演 3 | <b>カーボンニュートラルに向けての CO<sub>2</sub>地中貯留の役割<br/>ー研究開発から実用化・事業化への推進ー</b><br>CO <sub>2</sub> 貯留研究グループリーダー 薛 自求 |
| 16:20 ~ 16:55 | 講演 4 | <b>カーボンニュートラルに貢献するグリーンバイオプロセスの開発</b><br>バイオ研究グループリーダー 乾 将行                                                |
| 16:55 ~ 17:20 | 講演 5 | <b>CCU の社会実装に貢献する無機膜の開発と課題</b><br>無機膜研究センター長 中尾 真一                                                        |
| 17:20 ~ 17:25 | 閉会挨拶 | 専務理事 本庄 孝志                                                                                                |

## アクセス

### イノホール & カンファレンスセンター

- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- 東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」駅 B2 出口徒歩 5 分
- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口徒歩 3 分
- 東京メトロ有楽町線「桜田門」駅 5 番出口徒歩 10 分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線  
都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅徒歩 10 分
- 都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

## お申し込み

RITE ウェブサイト

<https://www.rite.or.jp>

よりお申し込みください。

申込締切：11 月 30 日(水)

※開催に際して新型コロナウイルス感染  
拡大防止に配慮いたします。

